岩江中だより

第９号
発行日：平成２６年５月２６日
発 行：三春町立岩江中学校
電　話：0247－６２－８２９０
ＦＡＸ：0247－６２－８３８０
E-mail:school@iwae-j.fks.ed.jp

【賞状伝達＆受賞報告！　～努力や苦悩の歴史を紹介していただきました。～】

学校では、子どもたちがさまざまな大会で賞状等をいただいた折は、集会等において、その努力と成果に敬意を払い、子どもたちの前で賞状を伝達しています。

ただ、その輝かしい記録はわかっても、その陰で子どもたちがどんな努力をし、どんなことを悩み、どうやってそれを乗り越えていったかなどは、なかなか伝わらないこともありました。

そこで、今回の賞状伝達からは、教務主任の先生にお願いし、子どもたちの口から直接それを披露していただき、その話を聞いた子どもたちの励みになればと考えました。

今回は、下の写真のマイクを握っている男女２人にお願いしました。印刷されたたった１枚の賞状ではありますが、その賞状のために、子どもたちは努力し、悩み、不安を抱えつつ、がんばってきたんだなあと強く感じました。子どもたちよ、よくぞがんばりました。そのがんばりこそ、人生の宝物です。

【平成２６年度第１回生徒会総会開催　～「なすことから学ぶ」そして、「自立」へ！～】

５月２１日（水）５・６校時には、平成２６年度第１回生徒会総会が開催されました。

生徒会長の吉田君はそのあいさつで、「目標を明確にすること」、「目標を共有し団結力を強くすること」をとおして、自らの「夢」へ『つなぐ』ことの大切さを訴えました。岩江中学校生徒会のスローガン『つなぐ』を常に念頭に、さまざまな活動に取り組んでいきましょうとあいさつは結ばれました。

その後、校長より話す機会があり、そこでは、「～たち」をさらに意識した活動にもしてほしいと付け加えさせていただきました。自分の夢への「つなぎ」と同時に、自分**「たち」**の夢への「つなぎ」も意識してほしい。学校は個人の夢の実現の場であるとともに、集団生活の場でもあるのだからという話をしました。

先生方の指導の立場から言えば、その目標は、「特別活動」と呼ばれる指導にあたり、「望ましい集団活動をとおして自主的・実践的な態度を育てる」というものです。

集団や社会の一員として、自らの個性を発揮しつつ、円滑な人間関係のもと、自他にとってよりよい環境の中で生活できる力を身につけられるよう指導してまいります。

執行部のみなさん

委員会・部活動代表のみなさん

質疑応答風景

【岩江中学校点描　～巨大ミミズ発見！～】

雨模様のある日の岩江中学校。子どもたちは徒歩や車に送られて登校してきます。楽しそうな友人との会話、元気な笑い声、時には肩を落として登校してくる子もいます。垣根の向こうからは、丸顔の時計も子どもたちの登校を見守ってくれています。今日もいい日になりますように。

巨大ミミズを発見した生徒諸君！

垣根の向こうから「最後は誰だ？」

【「ちひろ美術館コレクション展」鑑賞～町の支援をいただき本物にふれてきました。～】

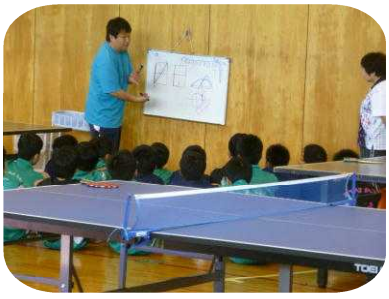
５月２２日（木）と２３日（金）の両日、町のスクールバスをお借りして、県立美術館で開催中の「いわさきちひろ美術館コレクション展」を鑑賞してきました。

美術館に到着すると、まず、ホールにとおされて、学芸員の先生からお話をいただきました。県立美術館や「いわさきちひろ美術館コレクション展」、そして、美術館での作品鑑賞の仕方などについてのお話でした。その後、展示されている作品群を鑑賞、学習した内容は記録用紙にきちんとまとめていました。

１時間程度の鑑賞時間でありましたが、子どもたちや先生方は、さまざまな絵本の世界を十分に味わっていたようでした。このような機会を与えていただきありがとうございました。

【どの部活動も真剣！　～運動部は最後の確認、文化部は質の向上にむけて～】

田村支部中体連総合大会を６月４・５日に控え、運動部は、今まで積み重ねてきたわざと精神の確認と、最後の調整に余念がありません。運動部を見て歩くと、プレーを止めて顧問の先生が一つ一つ丁寧に指導している姿に目にとまります。今まで積み重ねてきた練習の確認をし、試合でよい結果が得られるようにというものなのでしょう。

あと１週間、力一杯の練習を。ただし、ケガと病気にだけはくれぐれも注意しましょう。学校代表としての自覚をもって！

一方、文化部は、キーボードとピアノの前で、音程の確認や１年生の指導に取り組んでいました。中学校音楽祭は、８月２７日（水）に待っています。今のうちからコツコツ練習し、音楽祭では、すばらしい歌声を期待します。